

令和4年11月11日

府政運営の基本方針 2023（案）

第1 基本方針

1. 基本的な考え方
2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）
3. 行財政改革

第2 知事重点事業

「府政運営の基本方針」とは

大阪府がめざす将来像の実現に向け、「政策創造（重点的に取り組む分野）」や「行財政改革」などに関し、全庁統一の視点により翌年度において取り組むべき府政の大きな方向性を示すもの。

第1 基本方針

1. 基本的な考え方

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対策を着実に進め、困難を乗り越えるとともに、開催まで2年に迫った**2025**年の大阪・関西万博のインパクトを最大限に活かし、さらなる大阪の成長・飛躍に向けた土台づくりに果敢に挑戦する年。

コロナ対策は、社会経済活動を継続しながら府民の命を守る、新たなステージに入っている。全数届出見直しを踏まえた医療の重点化のもと、オール医療提供体制を確立させるとともに、ワクチン接種の促進などに万全を期す。

長引くコロナ禍に加え、急激に進む物価高騰により、府民の暮らしは大きな打撃を受けている。このため、観光産業や文化芸術活動を活性化させ、多様な都市魅力の創出を行うとともに、物価高騰により大きな影響を受けている府民や事業者に対し、国交付金を活用した支援を進める。雇用面では、スキルアップなど求職者支援や職場定着などに取り組み、安定雇用を図る。

こうした取組みとともに、開催まで2年に迫った万博に向け、機運醸成をはじめ、大阪パビリオンやインフラ整備などの準備をあらゆる関係者の力を集約させ、万博の成功に万全を期す。**2023**年に大阪・堺で開催される**G7**貿易大臣会合を通じて、万博の取組みや大阪の魅力を世界に発信するなど、万博成功へ弾みをつける。

万博のインパクトを最大限に活かし、府市一体で新たな価値を創出し、大阪の成長に着実につなげるため、「大阪版万博アクションプラン」に基づき、再生医療の産業化や空飛ぶクルマの商用運航の実現、カーボンニュートラルに向けた革新的な技術の創出や府民・事業者の行動変容、スマートシティ化を通じた府民生活の質の向上など、先進的な取組みに挑戦する。あわせて、兵庫県と産業や観光分野で連携しながら、大阪・関西の成長をけん引していく。

さらに、世界中から投資や人材を呼び込む。将来の成長の柱である**IR**と国際金融都市**OSAKA**の実現に向け、取組みを加速させる。また、新しいランドデザインに基づき、新大阪駅周辺地域をはじめ、大阪全体のまちづくりに府・市町村・民間などが一体となって取り組んでいく。

あわせて、大阪の成長を支える人材づくりを進める。次世代を担う子どもへの英語教育の推進や**ICT**の積極的な活用など、グローバル社会に対応できる人材を育てるとともに、高度人材や外国人材など多様な人材が活躍できる環境整備を進めていく。

これにより、世界に大阪の存在感を示し、さらなる飛躍に向けてしっかり取り組むことで、新たなイノベーションを巻き起こすとともに、**SDG s** を実現し世界に貢献する、国際都市大阪をめざす。

一方、自殺や課題を抱える女性の増加、ヤングケアラーをはじめ、社会からの孤独・孤立により生じる問題が顕在化し、社会問題となっている。このため包括的な対策を進めるとともに、児童虐待へのきめ細やかな対応やギャンブル等依存症対策など切れ目のない支援を図る。加えて、風水害などの自然災害は、全国各地に大きな被害をもたらしており、引き続き防災・減災対策を進める。

住民に身近な市町村が、将来にわたり持続的かつ安定的に住民サービスを提供できるよう、新たな市町村間連携やさらなる行財政改革の促進などを通じて、基礎自治機能の充実・強化に取り組んでいく。

こうした広域機能や基礎自治体機能の充実・強化を進めることで、東西二極の一極として日本の成長をけん引し、世界の中で存在感を発揮する「副首都・大阪」の実現をめざす。

施策の推進にあたっては、市町村・企業・**NPO** などと引き続き連携するとともに、積極的にサポートを行うなど、全ての関係者の力を結集し、取組みを進めていく。

2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）

令和5年度は、基本的な考え方に基づき、「感染症への対応」、「暮らしを支えるセーフティネットの充実」、「大阪経済の回復」、「万博成功に向けた取組みの加速」、「万博をインパクトにした新たな価値の創造・未来への投資」を推進し、日本の成長をけん引する「副首都・大阪」の確立をめざす。

以上、5つの柱立てで、次の重点的に取り組む分野を設定し、全庁一丸となって政策創造を図る。

なお、今後の感染拡大や経済の状況などに応じて、必要な対策を機動的に講じていく。

感染症対策と府民の暮らしを守る取組み

（1）感染症への対応

- 検査、医療・療養体制の確保
- 感染拡大防止の取組みの徹底

（2）暮らしを支えるセーフティネットの充実

- 府民の生活や健康を支える取組みの充実
- 子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の充実
- 自然災害の教訓を踏まえた災害対応力強化

万博のインパクトを最大限に活かした成長への取組み

（3）大阪経済の回復

- 物価高騰に対応した取組みの推進
- 国内外から人を呼び込む都市魅力の創出
- 雇用を支える取組みの推進、多様な働き方への対応促進

（4）万博成功に向けた取組みの加速

- 万博成功に向けた準備の加速（機運醸成、会場整備）

（5）万博をインパクトにした新たな価値の創造・未来への投資

- ライフサイエンスやカーボンニュートラルなど成長をけん引する産業の創出、イノベーションの促進
- スマートシティ化による府民生活の質の向上に向けた取組みの加速
- **IR** 開業や国際金融都市の実現に向けた取組みの推進
- 大阪のポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりの推進
- 大阪の成長を支える人材づくりの推進

3. 行財政改革

財政規律を堅持しつつ、府民・企業・市町村・国との連携を深め、社会全体で課題解決する「起点」としての役割を果たすなど、「組み換え（シフト）」と「強みを束ねる」を改革の視点として、自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立を図る。

（1）健全で規律ある財政運営の実現

◇財政の状況

令和 4 年度の府税収入の状況（9 月末調定状況）は、当初の見込みどおり推移しているものの、依然として、コロナによる影響や、原材料価格の動向等による景気の下振れリスクがあることから、府の財政は予断を許さない状況にある。

◇財政収支の見通し

仮収支試算（※）（別紙）では、令和 5 年度は 610 億円±α の収支不足額となっており、引き続き厳しい財政収支の見通しとなっている。

今後、コロナや物価高騰等の動向を踏まえた対策や、府税収入の動向、令和 5 年度地方財政計画などを十分見極めた上で、精査する必要がある。

（※）令和 4 年度当初予算をベースに、現時点で想定しうる事項を加味して財政収支を試算したもの。

◇令和 5 年度当初予算編成の基本的な考え方

コロナや物価高騰対策を着実に進めるとともに、万博のインパクトを最大限に活かし、大阪の成長・飛躍に向けた施策に限られた財源の重点配分を行う。

引き続き、財政運営基本条例に基づき、将来世代に負担を先送りしないことを基本に、財政規律、計画性及び透明性の確保に取り組み、健全で規律ある財政運営を行っていく。

(2) 組織運営体制

◇自律的な改革を支える体制の構築

新たな課題に的確に対応し、最大のパフォーマンスを発揮することができるよう、求める人材を適切に確保するとともに、職員が働きやすい環境づくりを進め、女性職員を幅広い分野へ積極的に任用する。

また、令和5年度からの定年年齢の段階的な引き上げによる高齢期の職員の活用を見据えつつ、再任用職員の短時間・フルタイム勤務の運用等、府庁の様々な人材を最大限活用することにより、必要な組織人員体制を整え、自律的な改革を進める。

◇働き方改革の実現

大阪府庁版「働き方改革」を踏まえ、フレックスタイム制度の活用など柔軟な働き方の浸透を図るとともに、長時間労働の是正や育児休業等の取得促進などに一層取り組み、働く職員の心身の健康確保・ワークライフバランス・女性活躍の促進等を図る。

◇令和5年度の組織体制と人員編成

府政の重要課題に適切に対応するとともに、効率的かつ効果的な行政運営を図るため、必要な組織体制の整備を行う。

人員編成については、事務事業の見直しや事務の効率化等による組織のスリム化に努めつつ、コロナ対策に必要な体制を継続し、万博に向けた取組みなど緊急かつ重要な行政需要に適切に対応していくことができるよう、重点的に人員を配置していく。

第2 知事重点事業

令和5年度の知事重点事業は、「第1 基本方針」に基づき、既存事業に関しては、効果・実績を検証のうえ、継続又は見直しの方向性を判断するとともに、新規事業に関しては、施策効果と全体の財政収支の見通しを見極めた上で、予算編成作業の中で決定していく。